

令和04年度日進市事務事業評価シート

大 事業名	地域福祉事業		コード	01010200-0202	
中 事業名	地域福祉推進事業		計画区分	①③	
担当部等	健康福祉部		担当課等	地域福祉課	
総合計画	コード	名 称	予算科目	コード	名 称
	基本目標	01 健やかに暮らす		会計	1 一般会計
	基本施策	01 地域福祉		款	03 民生費
	主要施策	02 地域福祉活動の充実・支援		項	01 社会福祉費
				目	01 社会福祉総務費
				大	02 地域福祉事業
		中	02 地域福祉推進事業		
根拠法令・条例等	社会福祉法、道路運送法、自殺対策基本法				
基本計画等	にっしん幸せまちづくりプラン、にっしん高齢者ゆめプラン、障害者基本計画				

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	住民に身近な地域において、地域住民の交流や情報・課題の共有、健康づくりの拠点となる住民主体の「つどいの場」を推進する。また、要介護認定を受ける人や障害のある人で、公共交通機関のみでは移動が制約されてしまう人の移動を支援する。
対象	市民
意図（目的）	地域住民等が主体となって地域生活課題を把握し、課題解決に向けて取り組む。
手段	ぷらっとホームの維持管理や利用促進、福祉有償運送等の支援

2 実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）		R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額	
		6,747	6,905	10,204	9,079	13,443	9,766	7,557	
財源内訳	特定財源								
	国庫支出金	19	19	19	20	0	0	0	
	県支出金	109	897	3,106	2,276	3,011	2,540	150	
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	242	237	0	0	3,613	117	0	
一般財源		6,377	5,752	7,079	6,783	6,819	7,109	7,407	
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.55 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		3,563.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）			6,905		9,079		13,329	0	

令和04年度日進市事務事業評価シート

○令和 4年度に記載した具体的な改善内容

令和 4年度に 実施する具体的な 改善内容	愛知県のモデル事業終了後の地域における高齢者移動支援に対する支援の仕組みを導入する。
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	地域住民主体の地域の支え合い・助け合いに対する支援方法を増やしていく。
令和 4年度に 取り組んだこと	地域福祉基金を活用し、高齢者移動支援専用車を購入した。住民主体による介護予防・生活支援サービス事業補助金交付要綱を整え、住民主体の介護予防や生活支援、移動支援の取組への財政支援制度を充実した。
成果	地域住民主体による高齢者移動支援事業の実施団体が増加した。ボランティアドライバーの養成により、高齢者移動支援事業の担い手を育成することができた。
課題	住民主体の移動支援が継続できるよう、ボランティアドライバーの掘り起こしやマッチングの仕組みづくりが必要である。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	つどいの場への参加者は以前の状況に戻り、高齢者移動支援事業参加地域の増加が見られるなど、地域における支え合い・助け合い、健康づくり（社会参加による介護予防）は着実に推進しており、引き続き取り組んでいく必要があるため。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 5年度に 実施する具体的な 改善内容	民間事業者と連携した高齢者移動支援専用車の拡充を図る。（高齢者移動支援に係る経費は介護保険特別会計に移管）				
今後の 方向性	成果	●拡充	○維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	●拡大	○維持	○縮小	○皆減
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	企業等と連携した住民主体の介護予防、支え合い・助け合いの充実をはかる。				

【アウトプット指標】

指標名	ふらっとホーム開所合計日数						単位	日
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	1,000.00	425.00	850.00	799.00	1,000.00	1,392.00	1,390.00	

【アウトカム指標】

指標名	ふらっとホーム開所1日当たり利用者数						単位	人
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	20.00	13.85	20.00	13.58	20.00	12.03	15.00	
式	ふらっとホーム利用者数（延べ人数）10,853人/ふらっとホーム開所合計日数 799日							
指標の狙い	地域の人が気軽に立ち寄れることを目指しているため、平均利用者数が多いことを指標とする。							

令和04年度日進市事務事業評価シート

大事業名	高齢者福祉事業			コード	01030100-0102			
中事業名	高齢者福祉推進事業			計画区分	①			
担当部等	健康福祉部		担当課等	地域福祉課				
総合計画	コード	名 称		予算科目	コード	名 称		
	基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計	
	基本施策	03	高齢者福祉・介護保険		款	03	民生費	
	主要施策	01	社会参加・生きがいのづくりの促進		項	01	社会福祉費	
						目	02	高齢者福祉費
						大	01	高齢者福祉事業
				中	02	高齢者福祉推進事業		
根拠法令・条例等	老人クラブ事業補助金交付要綱							
基本計画等	認知症施策推進大綱							

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	老人クラブ活動の支援やゲートボール場の維持管理（環境整備）を通じて、高齢者の地域におけるコミュニケーションやふれあいの場を設ける。また、社会の進展に寄与した高齢者に感謝の意と長寿を祝うため敬老金を贈呈する。
対象	65歳以上の市民
意図（目的）	生きがいを持つことで、閉じこもり防止や健康維持につなげる。
手段	老人クラブ活動補助金の交付、ゲートボール場の維持管理、敬老金の贈呈 等

2 実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）		R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額
		17,451	14,583	17,576	19,510	19,775	17,224	20,062
財源内訳	特定財源							
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	1,347	0	1,296	0	1,277	0	1,550
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	21	1	21	64	21	0	2,769
一般財源		16,083	14,582	16,259	19,446	18,477	17,224	15,743
人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.85 人	0.00 人	0.00 人
		人件費	0.00	0.00	0.00	5,506.00	0.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
		人件費	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
総事業費（千円）		14,583	19,510	22,730	0			

令和04年度日進市事務事業評価シート

○令和 4年度に記載した具体的な改善内容

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	老人クラブ活動の支援について調査研究を行う。敬老金について、対象者や支給方法等について継続して調査研究を行う。
今後（1～3年以内）実施可能な改善内容	敬老金について、国・県の要項等を参考に、対象者等について調査研究を継続して行っていく。
令和 4年度に取り組んだこと	老人クラブの自主的な活動支援やゲートボール場の維持管理を通じて、高齢者の地域社会との交流の推進を図った。数え88歳、数え95歳、数え100歳以上の高齢者へ敬老金を贈呈し、長年に亘り社会の進展に寄与した功績に感謝し長寿をお祝いした。
成果	老人クラブ1連合会・33単位老人クラブへ活動補助を行った。市内ゲートボール場6箇所の維持管理を行い、5箇所の修繕を行った。9月の敬老月間に557人の対象高齢者に祝金を贈呈した。
課題	役員の担い手不足を理由に、活動休止や統合をする老人クラブがある。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	C	一部改善が必要	前年度評価結果	B
評価の理由	地域包括ケアシステムにおける地域の支え合いにおいて、老人クラブの活動は重要なものと考えており、続して活動を支援する必要がある。敬老金については、趣旨や他市町村の状況を踏まえて対象者や金額の見直しを検討する。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 5年度に実施する具体的な改善内容	敬老金について、趣旨や他市町村の状況を踏まえて対象者や金額の見直しを検討する。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（1～3年以内）実施可能な改善内容	老人クラブの事務負担軽減（補助金交付手続き等）について検討を行う。				

【アウトプット指標】

指標名	老人クラブ会員数						単位	人
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	7,000.00	6,559.00	6,700.00	6,383.00	6,500.00	6,094.00	6,000.00	

【アウトカム指標】

指標名	老人クラブ社会奉仕活動回数						単位	回
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	150.00	105.00	120.00	200.00	200.00	192.00	190.00	
式	老人クラブが行った社会奉仕活動の回数							
指標の狙い	老人クラブの社会奉仕活動が増えることで、会員の健康増進や地域社会との交流が促進されると考える。							

令和04年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標2】

指標名	敬老金支給対象者数						単位	人
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	500.00	491.00	580.00	515.00	630.00	557.00	600.00	

令和04年度日進市事務事業評価シート

大事業名	生活保護等事業			コード	01070300-0102		
中事業名	生活困窮者自立支援事業			計画区分	①		
担当部等	健康福祉部			担当課等	地域福祉課		
総合計画	基本目標	01	健やかに暮らす	予算科目	会計	1	一般会計
	基本施策	07	社会保障		款	03	民生費
	主要施策	03	生活困窮者等の自立支援		項	03	生活保護費
					目	01	生活保護総務費
					大	01	生活保護等事業
					中	02	生活困窮者自立支援事業
根拠法令・条例等	生活困窮者等自立支援法						
基本計画等							

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	生活困窮者自立支援法に基づき相談窓口を設置し、生活困窮者への相談支援の実施や住居確保給付金の支給、その他の生活困窮者に対する自立の支援に関する措置を講ずることにより、自立に向けた支援を行う。
対象	日常生活に問題を抱えている市民
意図（目的）	生活上の困難に直面した人に対し自立の支援に関する措置を講ずることにより、自立に向けた支援を行う。
手段	相談窓口の開設、住居確保給付金の支給、支援事業の提供、支援調整会議の開催

2 実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）		R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額	
			11,552	24,733	17,646	34,281	32,846	40,598	26,787
財源内訳	特定財源	国庫支出金	8,513	20,030	12,850	29,207	25,517	29,085	18,754
		県支出金	0	0	0	999	0	1,607	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	324	0	0	0	0	0
		一般財源	3,039	4,379	4,796	4,075	7,329	9,906	8,033
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.62 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		4,016.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）			24,733		34,281		44,614	0	

令和04年度日進市事務事業評価シート

○令和 4年度に記載した具体的な改善内容

令和 4年度に 実施する具体的な 改善内容	これまで、生活困窮者自立支援事業における相談支援員の業務にて実施していた生活困窮者に対する「家計改善支援事業」について、家計改善支援員を配置し相談支援体制を強化する。
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	就労準備支援事業について、現状は生活困窮者等を対象としており、特に市長が認めるものとして生活保護受給者も利用できる仕様となっている。今後、生活保護受給の利用者が増えれば補助金の活用も視野に入れながら、生活保護に特化した事業への昇華を検討する必要がある。
令和 4年度に 取り組んだこと	「家計改善支援事業」の相談体制の強化を図るため、受託先による求人募集を行ったが応募が無い状況が続いたため、人材探しの方針を切り替え、地域福祉課にて人材を探すこととした。ファイナンシャルプランナーに対し生活困窮者自立支援の現状や家計改善支援の必要性の説明等を行い、ご理解をいただき家計改善支援事業へ協力いただけることとなった。
成果	「家計改善支援事業」はこれまで自立相談支援員により実施していたが、対象家庭の長期的視野に立った家計改善を支援するため、令和5年1月からファイナンシャルプランナーによる家計改善支援事業を開始した。
課題	家計改善支援については、ただ単に収支を整えれば良いというものではなく、その背景には複合的な課題がある場合が多い。自立相談支援、家計改善支援が点による支援とならないよう、良好な連携体制を維持していくことが必要となる。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	「家計改善支援事業」では、長期的なプランを示すことで、相談者が自らの将来をイメージすることが意識の改革につながり、転居や転職といった抜本的な改善に至った事例が生まれた。相談者の気づきを促し自立に繋げる、きめ細やかな支援を継続していく。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 5年度に 実施する具体的な 改善内容	就労準備支援は毎週月曜・水曜日の開催で実施してきたが、利用者の増加に比例して、個々の就職活動等の進捗状況に応じた対応を求められる機会も増えていることから、開催日を月2回程度増やす方向で調整していく。				
今後の 方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	現状、公共施設の部屋を借りて実施しているため、日時に制限がかかる状況となっているが①制限の少ないきめ細やかなサポートの実施②利用者が通える居場所づくりといった側面から、拠点を設けて実施する方向性を探っていく。				

【アウトプット指標】

指標名	新規相談件数						単位	件
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	110.00	278.00	300.00	238.00	300.00	107.00	300.00	

【アウトカム指標】

指標名	法に基づく事業等の利用件数						単位	件
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	165.00	567.00	450.00	609.00	450.00	390.00	450.00	
式	住居確保給付金、生活福祉資金等貸付、生活保護受給者等就労自立促進事業、食糧支援の件数（目標値は新規相談件数の1.5倍）							
指標の狙い	生活困窮者に対する各種支援件数により、自立支援相談等の施策が生活困窮者の支援に結び付いていることを表す。							